(9) 日本国特許庁 (JP)

①実用新業出版公開

<sup>13</sup> 公開実用新案公報 (U)

昭59—149070

5] Int. Cl.3 G 01 R 31/02 1/04

識別記号

庁内整理番号 7807-2G

**始公開** 昭和59年(1984)10月5日

6637-2G

審查請求 未請求

(全 頁)

M印刷配線板の布線試験装置

東京都港区芝五丁目33番1号日

21実 限 昭58-42853

本電気株式会社内 争出 顧 人 日本電気株式会社

22出 曜 昭58(1983)3月25日

東京都港区芝5丁目33番1号

分考 案 者 水野上晃

少代 理 人 弁理士 内原管

### 公開実用 昭和59一 149070

#### 3. 考案の詳細な説明

本考案は導体パターンのプリッジ、ショート等を検査する印刷配線板の布線試験装置に関し、特に一定格子の交点上に検査プロープを配置した汎用型布線試験機を使用する場合の布線試験装置に関する。

5

印刷配線板上の導体パターンの布線試験を行う 手段としては、(1)個々の印刷配線板に対し個別に 設計される専用布線ヘッドプロックを用いる場合 と、(1)一定格子の交点上に検査プロープを配置し た汎用布線ヘッドを用いる場合に大別される。

10

15

一方、後者の汎用布線へッドを用いるものは、 布線へッド製作の工数が僅かで済むが、検査箇所 が一定の格子の交点上に限られ格子の交点上に位 随しない被検査ランドが多い印刷配線板について は、検査率が低下する欠点があった。そとですべ



ての印刷配線板について、高価を布線ヘッドを逐 一製作せずに、共用の検査ヘッドにより、検査必 要簡所のみを検査する従来手段が知られている。

第1図(a), (b)は前述従来手段の構成の説明図で ある。第1図(a)に示すよりに絶縁板上の一定格子 の交点上に検査プロープを突出して設備した布線 ヘッド8と被検査の印刷配線板6との間に、中継 板7を配置させている。次に印刷配線板6の仮想 格子の交点上に位置して設けたランドパターンの 中で、布般検査を必要とするランドスルホールIB には直接布級ヘッド8の検査プロープ5が接触す るように中艇板7の同位艦に貫通孔4を設け、か つ検査の不要な格子の交点上のランドスルホール 1bには、検査プロープ5が接触しないように、 貫通孔を設けない。次に印刷配級板6の仮想格子 の交点上に位置しないランドスルホール2につい ては、中継板7の中艦用ランドスルホール3aと 遊体パターン 3 b により接続して設けられた中継 用接触部3と接触させ、電気的導通をとり、中総

5

10

15

20

用接触部 3 と接続して散けた中継用ランドスルホ

ール3aを介して、検査プロープ 5 とのコンタク トを得ている。

しかし、このような従来構成では、中継板の製作は、通常のサプトラクティブ工法による印刷配 根板であるため、中継用接触部3と、中継用ラン ドスルホール3 a 表面の高さは同一である。

5

このため、第1図(a)を断面図で示した第1図(b) に示すように印刷配線板 6 上に被磨したソルダーレジストコーティング層 9 の厚さにより、格子の交点上に位置しないランドスルホール 2 と中継板7の中継用接触部 3 間の電気的接続を安定して得ることが難かしかった。

10

本考案の目的は、かかる従来欠点を解決した印刷配線板の布線試験装置を提供することにある。

15

本考案によれば一定の仮想格子の交点上に測定 ピンを根立させた絶縁板からなるピン支持板と、 仮想格子の交点上並びに交点上に位置しない各ラ ンドを有する印刷配線板と、印刷配線板の仮想格 子の交点上の被測定ランドに対向した位置に貫通 孔を設け、かつ印刷配線板の格子の交点上にない



被測定ランドに接触する導電パターンを測定ピンと接触するスルホールとで接続して設けた中継板により構成される布線試験装置において、上記仮想格子の交点上に位置しない被検査用ランドと接触する導電パターン表面を周辺より突設させたことを特徴とする印刷配線板布線検査装置が得られる。

5

以下、本考案の構成、および原理を図面を参照 して説明する。第2図(a),(b)は本考案の布線試験 装置の原理を示す斜視図および断面図である。被 検査の印刷配線板6上の一定格子の交点上に位置し、検査プロープ5に直接接触できる位置のランドスルホール1a,1bに、中継板上の同位をシンドスルホール1g通孔4を設け、伸査プロール2に の一定格子の交点上に位置せず、検査プロール2に の一度接触できない位置のランドスルホール2に 中継板7上に位置のランドスルホール2に 中継板7上になのランドスルホール2に 中継板7上にないため、中継板7上のの 部分より突散させた中継用接触部3近辺の格子の交点 た中継板7上に中継用接触部3近辺の格子の交点

10

15



上に中継用スルホール3 a と、この中継用スルホール3 a と中継用接触部3を電気的に接続する導体パターン3 b を設ける。このように構成した中継板7を第2図(b)の如く被検査の印刷配線板6と検査プローブ5を突設させた布線ヘッド9の中間位値へ挿入することにより、印刷配線板6上の検査に必要なランドすべての検査が可能となる。

5

次に本考案中継用接触部3の構造について従来 例の第3図(a),(b)と本考案與施例の第4図、第5 図の部分拡大図を参照して説明する。第3図(a),

10

(b)は従来の中継板7を用いて被検査の印刷配線板6上の格子の交点上に位置しないスルホールランド2と検査プロープ5とを電気的に接続する中継部分の拡大断面図および斜視図である。被検査の印刷配線板6上の中継用接触部3は、中継板7上の中継用スルホールランド3aと回じ高さである

15

ため、印刷配線板 6 上のソルダーレジストコーティング展 9 の厚みが加わるため、被検査のスルホ

ールランド2と中継接触部3は接触せず、従って 検査はできない。次に従来例と比較して本考案に



よる実施例を第4図~第5図について説明する。 第4図(a), (b)は本考案による中継用接触部3の基 本構造部分を示す拡大断面図および斜視図である。 中継用接触部3は中継板7上の他の部分より、 分突出して設けられ、印刷配線板6上の被検が得ら スルホールランド2と安定した観気的もしるの スルホールランド2と安定した観気のもした もの金属めっきを施した表面に全めいます。 4の金属が一たものである。形状としてリ外に 変のすったものである。形状として別外に 変のすンドスルホール2に合わせて断面の状と 変の生状形状でもよい。また接触する表面の状と の往状形状でもよったが変したもの等が挙 がられる。

10

15

第5図(a),(b)は本考案の他の実施例を示す部分 拡大断面図および斜視図であり、中継 接触部 3 に 緩衝を必要とする簡所に、導電性を有するゴムを 被指させたものである。この実施例ではゴムのも つ弾性がクッションの役割を果す。なお、導電性



ゴムを中継板7上に被着させる手段としては、液 状の導電性ゴムの原料をスクリーン印刷等で所定 の部分に印刷した後に加熱成形する。

また本実施例では、導能性を有するゴムを用いたが、他に導能性強料、導能性接触剂、もしくは 導電性インクを用いることもできる。

以上、本考案により、次の効果がある。

- (1) 高価な専用の個別ヘッドを製作する必要がないため、コスト的負担がなくなり、かつすべての印刷配額板の布線模型が出来るので、模査作業の標準化ができる。
- (II) 非格子上ランドを含めた印刷配額板上のすべてのランドを検査できる。
- (iii) 端子ブロックなして、端子部の検査ができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図(a), (b)は従来の布額検査装置の主要部の 斜視図および断面図。

第2図(a), (b)は、本考案による布級試験装験の 主要部の斜視図および断面図。

- 8 -



5

第3図(a), (b)は、従来例の中継用接触部の断面 図および斜視図。

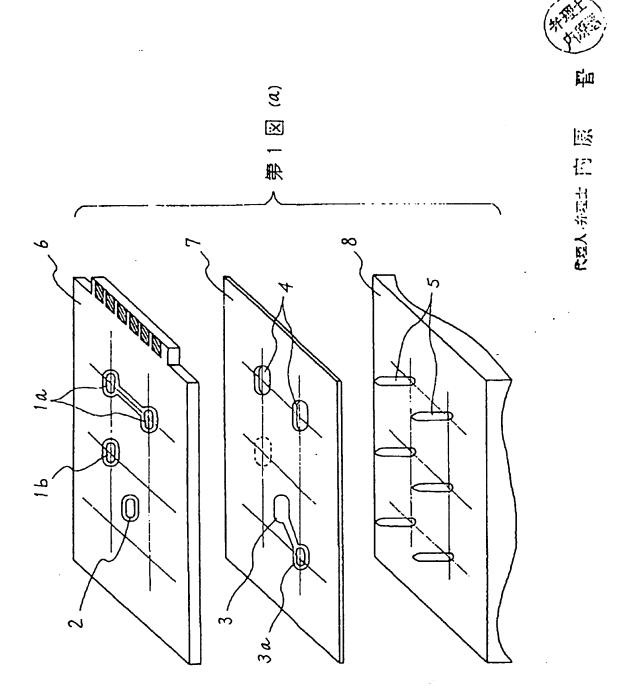
第4図(a), (b)および部5図(a), (b)は本考案例の 中継用接触部の断面図および斜視図。

1 a ……検索の必要な格子の交点上のランドス ルホール、1b……検査の不畏な格子の交点上の ランドスルホール、2……検査の必要な格子の交 点上にないランドスルホール、3……中継用接触 部、3a……中燃用スルホール、4……貫通孔、 5 ……検査プロープ、6 ……印刷配線板、7 …… 10 中継板、8……布線ヘッド、9……ソルダーレジ ストコーティング層。

> 代理人 弁理士 内 原







724

(P) 第1区 ωl

**代型人**·并至士 内 原

725

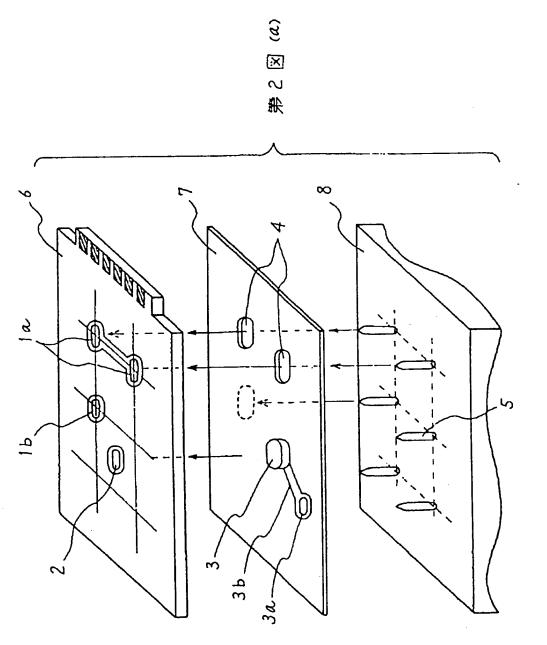
.,

# 公開実用 昭和59一;149070

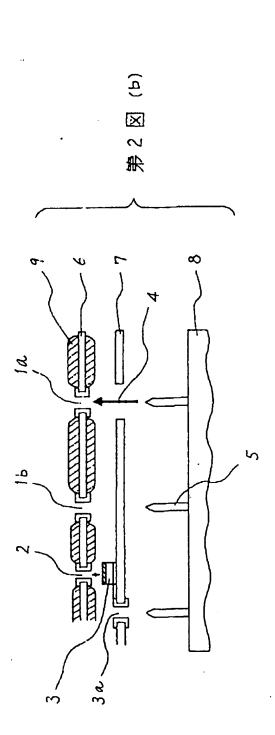


脚

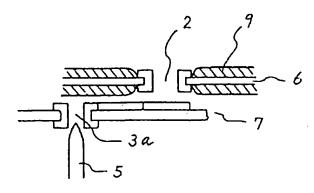
KEA 崇江 远原



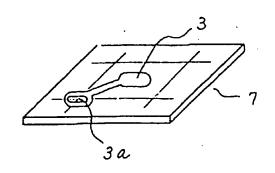
fra人。high 内原



## 公開実用 昭和59一 149070



第3図(a)



第3図(6)

A型人名巴生 內 原

形5区(6)

第4区(5)

